

おいらか



平成26年度

一般会計 当初予算

“生活感幸、加速”
=甲賀の^{くに}國づくり予算=

総務部 財政課



平成26年度 甲賀市一般会計 当初予算

・ 予算編成方針	3
・ 当初予算の規模	9
・ 指標などの推移	10
・ 一般会計歳入予算構成	11
・ 市税の内訳	12
・ 一般会計歳出予算構成《目的別》	13
・ 一般会計歳出予算構成《性質別》	14
・ 基金の状況	15
・ 当初予算の推移	16
・ 地方消費税交付金(社会保障財源化分)の用途について	19
・ 重点事業・平成26年度の主な事業	21
・ 協働事業	60
・ ゼロ予算事業	61
・ お知らせ	62



“生活感幸、加速” = 甲賀の^{くに}國づくり予算 =

平成26年度は、甲賀市が誕生し10年を迎えます。

これまでの10年間は、各地域の特色を活かしながらも、限られた財源を有効かつ合理的に活用した「理想郷こうか」の実現に向けた施策に取り組み、市としての一体感の醸成に努めてきました。

市民の皆様お一人おひとりの心には、甲賀市民としての誇りが生まれ、目指すまちの将来像である「人 自然 輝きつづける あい甲賀」の姿に近づきつつあります。

このように、合併後のまちづくりの礎を築いていく中で、平成26年度予算は、市民の皆様が生活にさらなる幸せを実感いただける「“生活感幸、加速” = 甲賀の^{くに}國づくり予算 =」として編成しました。

特に、「生活感幸」を加速させる取り組みとして、4つのテーマ毎に70の重点事業を取りまとめ、今日までの「守る」、「稼ぐ」、「削る」に、新たに「繋ぐ」を加えた4つの市政運営の視点を基に「甲賀の國づくり」に取り組みます。



予算編成方針

基本方針

- (1) 総合計画の実現を目指した重点的・戦略的な財源配分
- (2) 東日本大震災の経験を踏まえた防災・減災対策等の強化
- (3) 財政健全化にむけた着実な取り組み
- (4) 合併特例期間を見据えた計画的予算



予算編成方針

あいこうか

(1) 総合計画の実現を目指した重点的・戦略的な財源配分

市民ニーズや経済情勢等を踏まえつつ、安全・安心な暮らしを目指してより一層の施策の重点化を図りながら、総合計画に掲げる将来像「**人 自然 輝きつづける あい甲賀**」の実現のための部局間連携による予算とする。

【まちづくりの理念】

- ・ 自然のもたらす大地の恵みが、市民の暮らしに強く結びついているまち
- ・ 地域を担う人が育ち、広域的な交流や活力が生まれているまち
- ・ 互いの人権が尊重され、生活の安心感や生きがいをみんなで高めているまち

(2) 東日本大震災の経験を踏まえた防災・減災対策等の強化

東日本大震災等の経験を踏まえ、将来を見据えた防災・減災対策、環境・エネルギー対策のより一層の強化を図る。



予算編成方針

あいらつか

(3) 財政健全化にむけた着実な取り組み

- ①改革の視点に基づく行財政改革の断行
- ②「税・料金等収納向上対策強化三箇年計画・チャレンジ28プラン」に基づく市税や各種料金の滞納解消策の実行と未利用地の売却・有効活用などによる財源の確保及び新たな歳入の創出
- ③将来世代の負担を軽減するため、基礎的財政収支(プライマリーバランス)の黒字化を継続
 - ・将来世代へ負担を先送りせず、財政の中長期的な持続可能性を保つため市債の新規発行を抑制
 - 市債の元利償還 3, 877, 919千円
 - 市債の新規発行額 2, 651, 600千円 (うち臨時財政対策債 1, 520, 000千円)
 - ・市債残高の推移
 - 平成18年度末 43, 913, 651千円⇒平成26年度末 36, 046, 349千円(7, 867, 302千円の減)

※プライマリーバランス:市債以外の歳入で、市債の元利償還金を除いた歳出を賄えるかどうかを示す基礎的財政収支のこと
で、これがプラスであれば財政の中長期的な持続可能性を保つことができるとされています。

※臨時財政対策債 :本来、地方交付税として交付されるべきものですが、地方交付税の財源が不足していることから地方
が国に代わって借金しているものです。後年度の元利償還金は全額地方交付税で賄われます。



予算編成方針

あいらつか

(4) 合併特例期間を見据えた計画的予算

合併特例期間の終了後も持続可能な財政運営にむけて、その期限を見据えた計画的な予算とする。



「合併特例債」とは？

合併特例債は、合併した市に限って認められる地方債で、合併後の市の一体的な発展や旧町間の格差をなくすための事業に活用できます。他の地方債と違い、事業費の95%を借り入れることができ、借入金を毎年度分割して返済する際、利息を含めた返済金の7割が国からの地方交付税で賄われるという大変有利な制度です。

法改正により合併特例債の発行期限が5年間延長され、平成31年度まで活用することができるようになりました。活用できる期限を見据えながら、防災・減災対策など市の将来のために有効に活用していく必要があります。

これからも、後々の財政のやりくりも考えながら有利な借り入れを最大限に活用し、将来に渡って住みよいまちづくりに知恵を絞って取り組んでいきます。



「普通交付税の合併算定替」とは？

合併後でも、合併がなかったものと仮定して、合併前の旧町ごとに算定した普通交付税の合算額が保障され、合併による普通交付税の不利益を被ることがないようにされた制度です。甲賀市は平成26年度まで続き、平成27年度からの5年間で段階的に削減されます。



予算編成方針

まいごか

4つの重点テーマ

① 元気と安心、みんなで守る甲賀の暮らし

- ・ 安全・安心を守る絆づくり(自主防災組織の体制強化、地域内食料自給力の向上など)
- ・ 安全・安心を守るインフラ整備(公共施設の耐震化、道路・橋りょうの安全対策、自然災害対策など)
- ・ 高齢者・障がい者等の自立や介護への支援
- ・ 生涯を通じた健康づくりの充実

② 学びと育ち、きずなが育む甲賀の未来

- ・ 子育ての支援や体制の整備と保育の充実
- ・ 経験や体験を通じた子どもの育成(地域と学校教育の連携強化、地域に学ぶ教育の導入など)
- ・ 教育環境の整備

③ 創造と交流、進化が生みだす甲賀の活力

- ・ 雇用の維持と創出(就労支援の強化、企業や産業の誘致など)
- ・ 地域産業の維持活性化(甲賀ブランドの強化、地産地消の推進、鳥獣害対策の更なる強化など)
- ・ 人やモノの交流促進(高速道路や公共交通機関を活用した観光振興、地域資源を活用した都市との交流など)

④ 魅力の伝承、誇りを伝える甲賀の宝

- ・ 地域コミュニティの育成支援
- ・ 地域資源の創造と維持活用(文化の創造、歴史資産の保存活用、産学とまちとの連携による地域資源の維持活用など)
- ・ 自然環境の保全と共生(農山村環境の保全、森林の再生など)
- ・ 省エネルギーの推進と新エネルギーの普及支援



予算編成方針

さらなる財政健全化へ向けた取り組み

(1) 事務事業の見直し

合併特例期間の終了は、その後の市政運営に大きな影響を及ぼすことから、持続可能な財政基盤の構築のため、「経営の視点」で必要性、効果、優先度等を検証し、施設の統廃合や管理運営内容の検証、補助金・委託料の改廃、臨時及び嘱託を含めた職員配置など制度・事務手法・組織の見直しに取り組む。

(2) 新たな歳入の確保

国や県の動向などに左右されることなく、行政需要に的確に対応した市民サービスを継続的に提供できる強固な財政基盤を構築するため、新たな歳入創出とその源泉の涵養に取り組む。

その他の取り組み

(1) 台風第18号による災害の復旧に向けた取り組み

平成25年9月に発生した台風第18号による災害の復旧については、国・県の財源を活用しながら、早期の復旧に向け取り組むこととする。

(2) 市制施行10周年に向けた取り組み

平成26年10月に市制施行10周年を迎えるにあたり、この節目となる機会をとらえ、より一層一体感を高め、さらなる飛躍の機会とするため、将来にわたって郷土への愛着心の向上につながり、誇りに思える事業に取り組むこととする。

(3) 「協働事業」の推進

市民協働事業提案制度によって採択された事業については、従来の枠配分予算とは区別して優先的に予算化する。

(4) 「ゼロ予算事業」の推進

特別な予算措置をすることなく、職員一人ひとりの積極的な創意工夫のもとで、技術・知識、資産、情報の最大限の活用や市民との協働・連携により、行政サービスの向上につながる取り組みを一層推進する。



当初予算の規模

おいろうか

(単位:千円・%)

会計名		年度	26年度 A	25年度 B	比較 A-B=C	伸率 C/B
一般会計			35,350,000	34,200,000	1,150,000	3.4
特別会計	国民健康保険		9,030,000	8,710,000	320,000	3.7
	後期高齢者医療		1,715,000	1,642,000	73,000	4.4
	介護保険		5,824,000	5,372,000	452,000	8.4
	公共下水道事業		3,598,000	3,391,000	207,000	6.1
	農業集落排水事業		734,000	867,000	△ 133,000	△ 15.3
	土地取得事業		3,252	3,392	△ 140	△ 4.1
	野洲川基幹水利施設管理事業		20,613	20,017	596	3.0
	浄化槽管理事業		0	180,000	△ 180,000	△ 100.0
小計			20,924,865	20,185,409	739,456	3.7
企業会計	病院事業	収益的収入及び支出	877,000	860,000	17,000	2.0
		資本的収入及び支出	74,022	56,084	17,938	32.0
	水道事業	収益的収入及び支出	2,980,632	2,632,070	348,562	13.2
		資本的収入及び支出	1,079,479	1,364,663	△ 285,184	△ 20.9
	診療所事業	収益的収入及び支出	220,300	215,700	4,600	2.1
		資本的収入及び支出	5,755	5,475	280	5.1
	介護老人保健施設事業	収益的収入及び支出	324,800	315,800	9,000	2.8
		資本的収入及び支出	4,076	1,195	2,881	241.1
小計			5,566,064	5,450,987	115,077	2.1
合計			61,840,929	59,836,396	2,004,533	3.4



指標などの推移

あいらつか

※この「指標などの推移」では、毎年度総務省が全国の自治体の財政状況を一律に比較するために調査する普通会計決算の数値を使っています。

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度
実質公債費比率(3カ年平均) (単位:%)	18.0	16.8	14.8	13.1
実質公債費比率(単年度) (単位:%)	17.0	14.8	12.7	11.9
地方債現在高 (単位:百万円)	39,396	37,231	35,561	35,207
地方債現在高(臨時財政対策債除く) (単位:百万円)	29,112	26,308	23,189	21,355
将来負担比率 (単位:%)	107.5	92.9	80.5	69.2
経常収支比率 (単位:%)	90.9	88.8	83.5	85.6
財政力指数(3カ年平均)	0.832	0.792	0.759	0.745
財政力指数(単年度)	0.786	0.742	0.749	0.743

※実質公債費比率

『一般会計等の元利償還金』及び『公営企業債の償還に係る一般会計からの繰出金等』の標準財政規模に対する比率で、資金繰りの程度を示すもの。18%以上の団体は地方債の発行に県の許可が必要となり、25%以上の団体は一部の起債が制限されます。

※将来負担比率

『公営企業、出資法人等を含めた一般会計等が将来負担すべき実質的な負債』の標準財政規模に対する比率で、将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示すもの。

※経常収支比率

人件費や公債費、扶助費などの毎年度経常的に支出される経費に、市税や普通交付税などの毎年度経常的に収入される用途の特定されない財源がどれだけ使われているかを示す割合。比率が低いほど財政構造の弾力性が高いことを示しています。



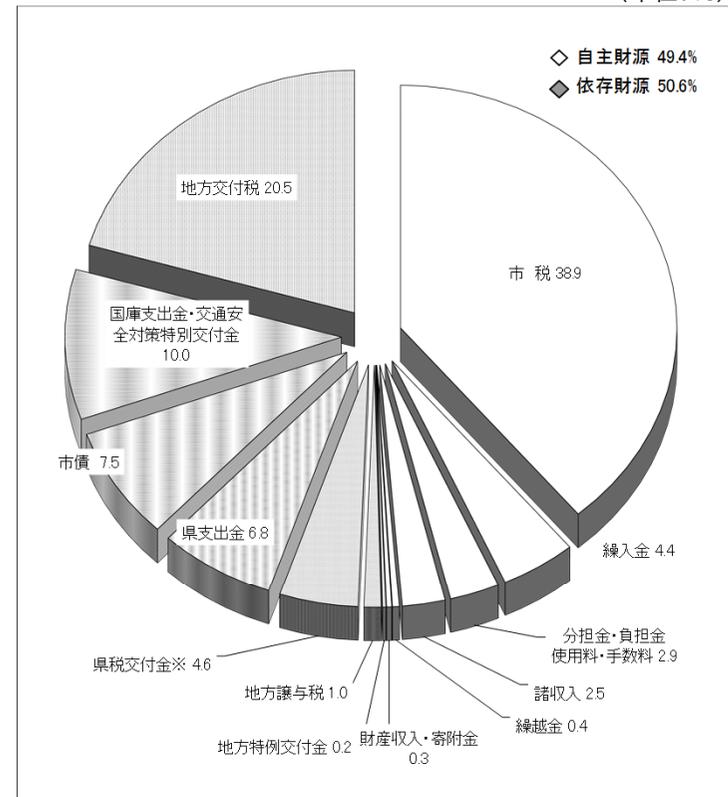
一般会計歳入予算構成

(単位:千円・%)

区 分	26年度		25年度	比較	伸率
	A	構成比			
◇ 市税	13,755,099	38.9	13,413,011	342,088	2.6
◆ 地方譲与税	365,000	1.0	355,000	10,000	2.8
◆ 利子割交付金	26,000	0.1	29,000	△ 3,000	△ 10.3
◆ 配当割交付金	35,000	0.1	19,000	16,000	84.2
◆ 株式等譲渡所得割交付金	1,000	0.0	4,000	△ 3,000	△ 75.0
◆ 地方消費税交付金	1,050,000	3.0	791,000	259,000	32.7
◆ ゴルフ場利用税交付金	428,000	1.2	420,000	8,000	1.9
◆ 自動車取得税交付金	56,000	0.2	103,000	△ 47,000	△ 45.6
◆ 地方特例交付金	62,000	0.2	60,000	2,000	3.3
◆ 地方交付税	7,250,000	20.5	7,050,000	200,000	2.8
◆ 交通安全対策特別交付金	14,000	0.0	13,902	98	0.7
◇ 分担金及び負担金	582,065	1.6	615,526	△ 33,461	△ 5.4
◇ 使用料及び手数料	448,928	1.3	441,263	7,665	1.7
◆ 国庫支出金	3,530,462	10.0	3,039,776	490,686	16.1
◆ 県支出金	2,404,157	6.8	2,312,509	91,648	4.0
◇ 財産収入	93,097	0.3	135,774	△ 42,677	△ 31.4
◇ 寄附金	10	0.0	10	0	0.0
◇ 繰入金	1,555,531	4.4	1,309,220	246,311	18.8
◇ 繰越金	150,000	0.4	150,000	0	0.0
◇ 諸収入	892,051	2.5	999,309	△ 107,258	△ 10.7
◆ 市債	2,651,600	7.5	2,938,700	△ 287,100	△ 9.8
歳入合計	35,350,000	100.0	34,200,000	1,150,000	3.4

◇ 自主財源	17,476,781	49.4	17,064,113	412,668	2.4
◆ 依存財源	17,873,219	50.6	17,135,887	737,332	4.3

(単位:%)



※ 県税交付金は利子割交付金から自動車取得税交付金までの合計



市税の内訳

あいらつか

(単位:千円・%)

区 分	26年度 A	25年度 B	比較 A-B=C	伸率 C/B
市民税	5,927,500	5,660,000	267,500	4.7
個人	4,346,000	4,259,000	87,000	2.0
現年度分	4,300,000	4,200,000	100,000	2.4
過年度分	46,000	59,000	△ 13,000	△ 22.0
法人	1,581,500	1,401,000	180,500	12.9
現年度分	1,581,000	1,400,000	181,000	12.9
過年度分	500	1,000	△ 500	△ 50.0
固定資産税	6,870,999	6,818,011	52,988	0.8
固定資産税	6,863,000	6,810,000	53,000	0.8
現年度分	6,800,000	6,737,000	63,000	0.9
過年度分	63,000	73,000	△ 10,000	△ 13.7
国有資産等所在市町村交付金	7,999	8,011	△ 12	△ 0.1
軽自動車税	225,600	215,000	10,600	4.9
現年度分	223,000	212,000	11,000	5.2
過年度分	2,600	3,000	△ 400	△ 13.3
市たばこ税	716,000	705,000	11,000	1.6
鉱産税	1,000	1,000	0	0.0
入湯税	14,000	14,000	0	0.0
合 計	13,755,099	13,413,011	342,088	2.6

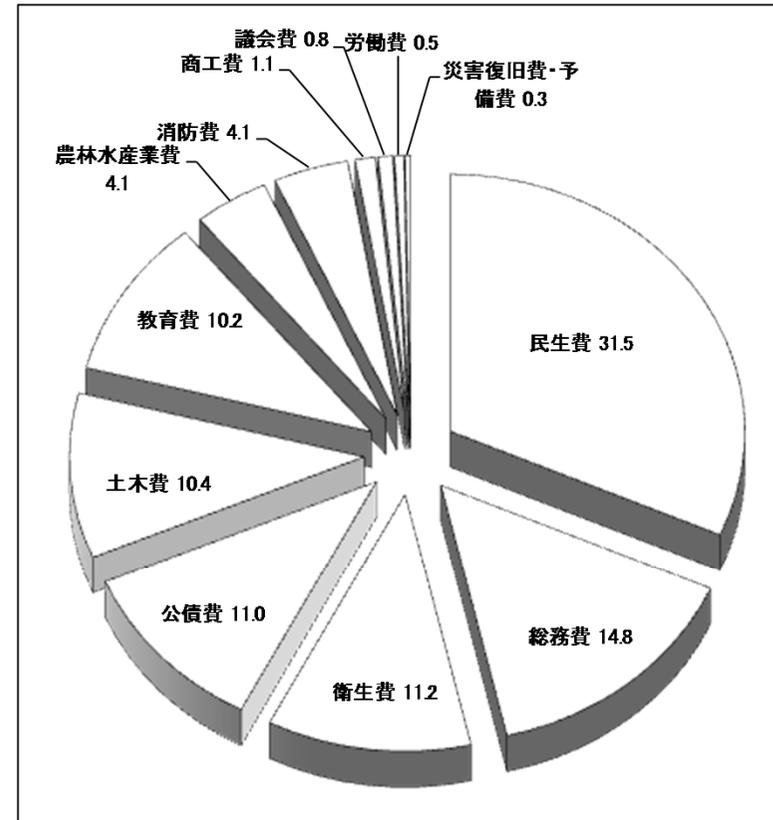


一般会計歳出予算構成《目的別》

(単位:千円・%)

区 分	26年度		25年度	比較 A-B=C	伸率 C/B
	A	構成比			
議会費	287,311	0.8	290,968	△ 3,657	△ 1.3
総務費	5,246,792	14.8	4,947,278	299,514	6.1
民生費	11,166,464	31.5	10,454,644	711,820	6.8
衛生費	3,942,563	11.2	3,735,355	207,208	5.5
労働費	181,421	0.5	234,626	△ 53,205	△ 22.7
農林水産業費	1,463,532	4.1	1,438,535	24,997	1.7
商工費	377,429	1.1	375,523	1,906	0.5
土木費	3,668,570	10.4	3,203,222	465,348	14.5
消防費	1,446,489	4.1	1,622,298	△ 175,809	△ 10.8
教育費	3,588,706	10.2	3,861,097	△ 272,391	△ 7.1
災害復旧費	4	0.0	4	0	0.0
公債費	3,880,719	11.0	3,936,450	△ 55,731	△ 1.4
予備費	100,000	0.3	100,000	0	0.0
歳出合計	35,350,000	100.0	34,200,000	1,150,000	3.4

(単位: %)





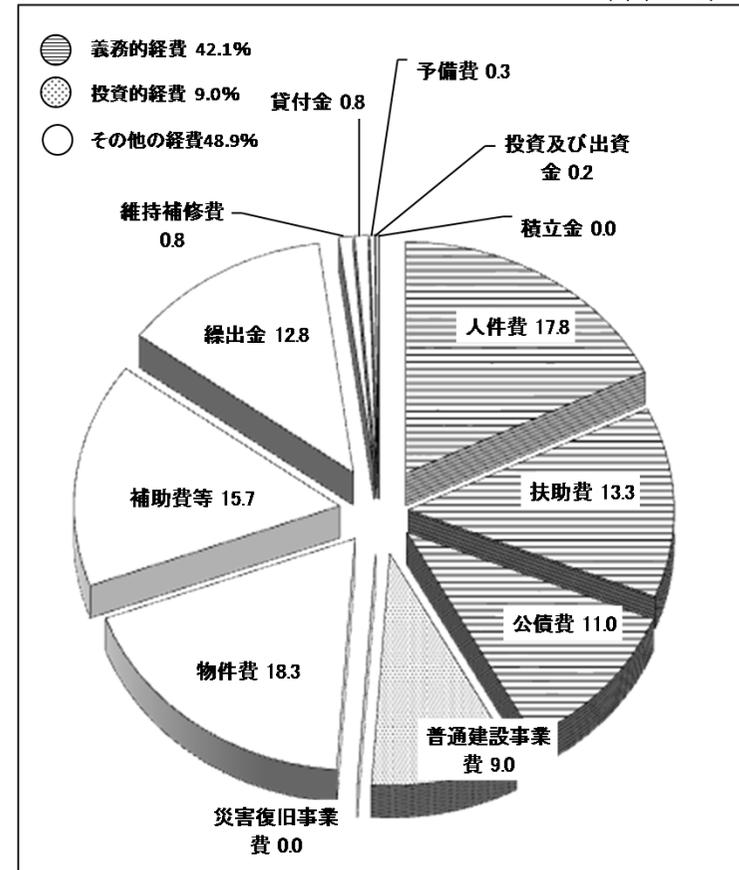
一般会計歳出予算構成《性質別》

(単位:千円・%)

区 分	26年度		25年度	比較 A-B=C	伸率 C/B
	A	構成比			
◆ 人件費	6,312,054	17.8	6,416,127	△ 104,073	△ 1.6
○ 物件費	6,480,179	18.3	6,255,032	225,147	3.6
○ 維持補修費	266,146	0.8	327,545	△ 61,399	△ 18.7
◆ 扶助費	4,692,012	13.3	4,653,575	38,437	0.8
○ 補助費等	5,560,465	15.7	4,698,653	861,812	18.3
● 普通建設事業費	3,173,629	9.0	3,023,310	150,319	5.0
● 災害復旧事業費	4	0.0	4	0	0.0
◆ 公債費	3,880,719	11.0	3,936,450	△ 55,731	△ 1.4
○ 積立金	17,033	0.0	22,234	△ 5,201	△ 23.4
○ 投資及び出資金	72,104	0.2	74,839	△ 2,735	△ 3.7
○ 貸付金	284,000	0.8	184,000	100,000	54.3
○ 繰出金	4,511,655	12.8	4,508,231	3,424	0.1
○ 予備費	100,000	0.3	100,000	0	0.0
歳出合計	35,350,000	100.0	34,200,000	1,150,000	3.4

◆ 義務的経費	14,884,785	42.1	15,006,152	△ 121,367	△ 0.8
● 投資的経費	3,173,633	9.0	3,023,314	150,319	5.0
○ その他の経費	17,291,582	48.9	16,170,534	1,121,048	6.9

(単位:%)





基金の状況

あいらつか

(単位:千円)

区 分	年 度	24年度末 現在高 A	25年度 積立 B	25年度 取崩 C	25年度末 見込 D=A+B-C	26年度 積立 E	26年度 取崩 F	26年度末 見込 G=D+E-F
財政調整基金		2,882,509	5,525		2,888,034	3,450	400,000	2,491,484
財政調整基金(新名神緑地管理分)		13,178		2,000	11,178		2,000	9,178
減債基金		536,931			536,931			536,931
福祉基金		277,008	748	50	277,706		6,656	271,050
教育振興基金		567,507	2,275	1,600	568,182	960	143,500	425,642
文化振興基金		145,902	270	1,013	145,159	360	106,900	38,619
公共施設等整備基金		973,465	16,378	3,000	986,843	1,650	535,000	453,493
住みよさと活気あふれるまちづくり基金		3,866,340	11,615		3,877,955	7,370		3,885,325
あい甲賀ふるさと応援基金		2,597	3,041	2,383	3,255	12	2,480	787
移譲施設整備基金		18,811	22	14,783	4,050	10		4,060
コミュニティ推進基金		178,243	168,349	167,000	179,592	160	168,000	11,752
鉄道施設基金		840,996	2,205	40,641	802,560	2,060	78,547	726,073
図書館振興北村昭三基金		262,604	130	10,000	252,734	430	10,000	243,164
その他特定目的基金		406,503	786	41,296	365,993	571	90,708	275,856
合 計		10,972,594	211,344	283,766	10,900,172	17,033	1,543,791	9,373,414

土地開発基金(現金)	492,150			492,150			492,150
------------	---------	--	--	---------	--	--	---------

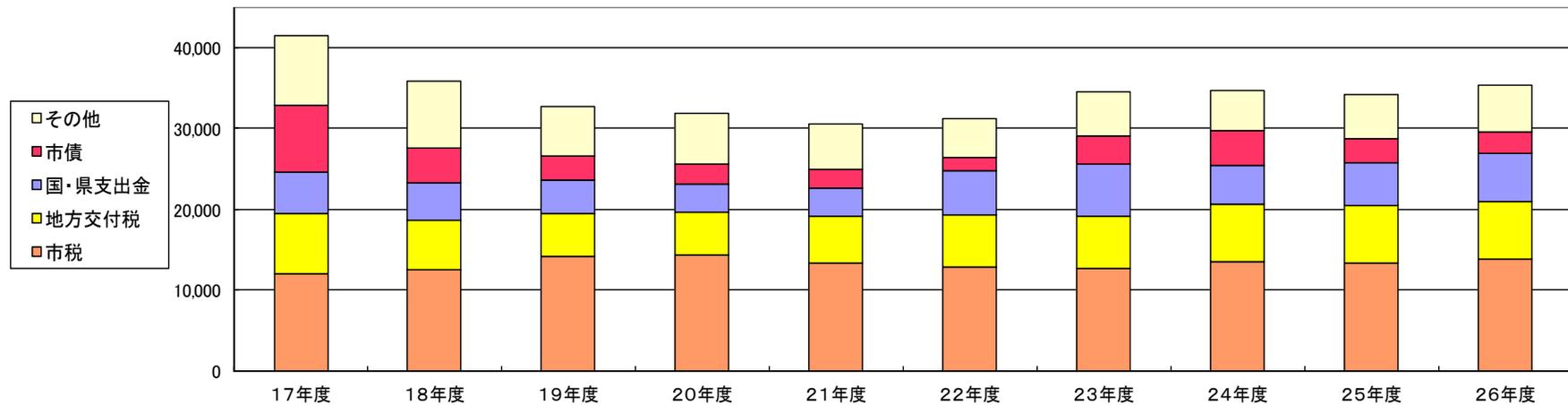


当初予算の推移(1)

◆歳入予算の推移

(単位:百万円)

区 分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
市税	12,054	12,512	14,224	14,412	13,407	12,917	12,640	13,518	13,413	13,755
地方交付税	7,466	6,200	5,320	5,220	5,690	6,400	6,550	7,050	7,050	7,250
国・県支出金	5,151	4,625	4,109	3,447	3,589	5,391	6,469	4,899	5,352	5,935
市債	8,199	4,259	2,922	2,494	2,200	1,642	3,339	4,196	2,939	2,652
うち臨時財政対策債	1,293	1,161	1,062	998	1,168	1,100	1,700	1,520	1,520	1,520
うち合併特例債	3,283	1,291	1,258	1,086	574	129	1,639	2,557	1,404	1,132
その他	8,560	8,204	6,175	6,377	5,714	4,800	5,602	5,037	5,446	5,758
歳入合計	41,430	35,800	32,750	31,950	30,600	31,150	34,600	34,700	34,200	35,350



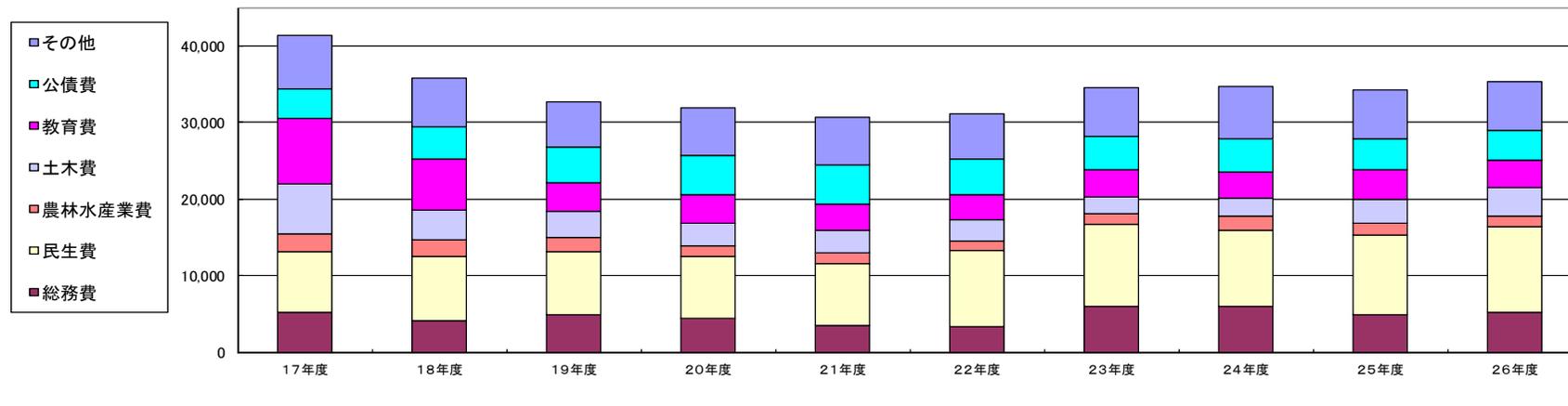


当初予算の推移(2)

◆歳出予算の推移《目的別》

(単位:百万円)

区 分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
議会費	326	267	272	270	271	241	324	298	291	287
総務費	5,228	4,136	4,972	4,421	3,478	3,465	6,013	6,007	4,947	5,247
民生費	7,902	8,380	8,113	8,114	8,149	9,788	10,656	10,008	10,455	11,166
衛生費	4,306	4,169	3,716	3,864	3,810	3,680	3,764	3,978	3,735	3,943
労働費	224	224	195	213	269	366	391	272	235	181
農林水産業費	2,351	2,182	1,891	1,405	1,367	1,314	1,451	1,792	1,439	1,464
商工費	394	356	370	489	465	354	292	397	376	377
土木費	6,559	3,938	3,444	2,876	2,952	2,775	2,193	2,387	3,203	3,669
消防費	1,645	1,328	1,279	1,239	1,201	1,207	1,494	1,840	1,622	1,446
教育費	8,461	6,640	3,796	3,775	3,351	3,305	3,513	3,315	3,861	3,589
災害復旧費	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公債費	3,933	4,130	4,652	5,184	5,187	4,555	4,409	4,306	3,936	3,881
予備費	100	50	50	100	100	100	100	100	100	100
歳出合計	41,430	35,800	32,750	31,950	30,600	31,150	34,600	34,700	34,200	35,350



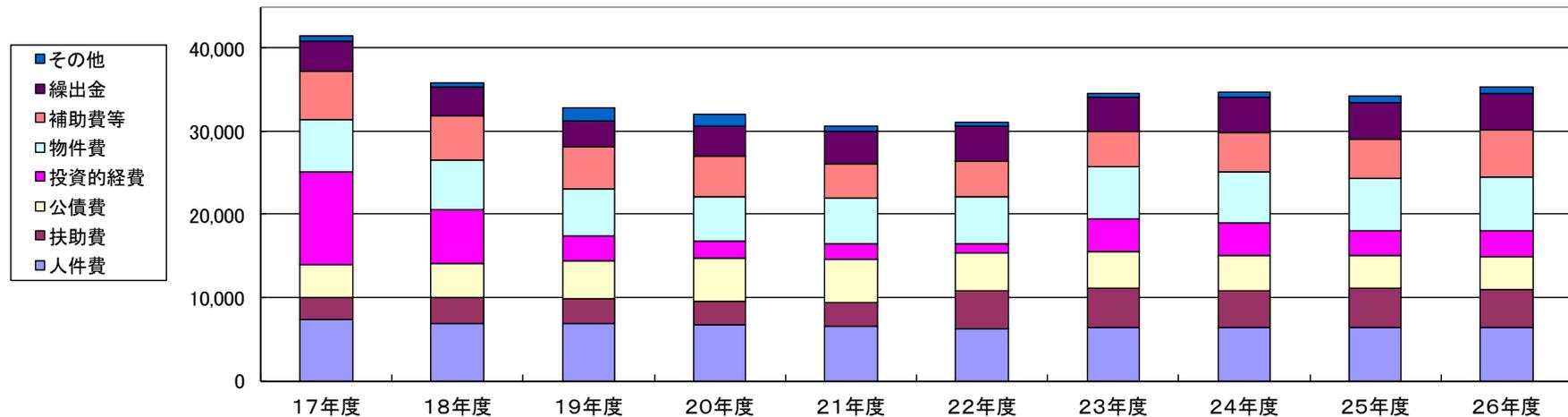


当初予算の推移(3)

◆歳出予算の推移《性質別》

(単位:百万円)

区 分		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
性質別	義務的経費	人件費	7,354	6,905	6,829	6,668	6,476	6,263	6,344	6,424	6,416	6,312
		扶助費	2,659	3,042	2,980	2,902	2,923	4,486	4,695	4,311	4,654	4,692
		公債費	3,933	4,130	4,652	5,184	5,187	4,555	4,409	4,306	3,936	3,881
	投資的経費	11,190	6,423	2,866	1,973	1,812	1,174	4,044	3,873	3,023	3,174	
	その他の経費	物件費	6,301	6,041	5,710	5,450	5,491	5,706	6,184	6,191	6,255	6,480
		補助費等	5,748	5,354	5,002	4,879	4,220	4,236	4,315	4,709	4,699	5,560
		繰出金	3,655	3,461	3,171	3,471	3,928	4,178	4,128	4,223	4,508	4,512
		その他	590	444	1,540	1,423	563	552	481	663	709	739
	歳出合計		41,430	35,800	32,750	31,950	30,600	31,150	34,600	34,700	34,200	35,350





地方消費税交付金(社会保障財源化分)の 用途について

あいらつか

今般の消費税及び地方消費税の税率引上げにともない、滋賀県から県内各市町に交付される地方消費税交付金も増加となりますが、その増加分は、全て社会保障財源化することとなっています。

当市におきましても、この趣旨を踏まえ、滋賀県から交付される地方消費税交付金の増加分を全て下記のとおり社会保障施策に要する経費に充当しましたのでお知らせします。

社会保障財源額算定式

$$\begin{array}{l} 14,450\text{百万円} \quad \times \quad 2/12(\text{※1}) \quad \times \quad \text{各市町の人口} / \text{滋賀県人口}(\text{※2}) \\ \text{(滋賀県の平成26年度地方消費税市町交付金当初予算額)} \end{array}$$

甲賀市における社会保障財源額

$$14,450\text{百万円} \times 2/12 \times 92,704\text{人} / 1,410,777\text{人} \doteq 158,000\text{千円}$$

(※1) 地方消費税収のうち「社会保障施策に要する経費に充てるものとされている額」の平成26年度における割合(地方税法第72条の115第2項および地方税法H24改正法附則(平成24年8月22日法律第69号)第7条)

(※2) H22の国勢調査人口



地方消費税交付金(社会保障財源化分)の 用途について



(歳入) 地方消費税交付金(社会保障財源化分) 158,000 千円
 (歳出) 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 158,000 千円

【社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費】

(単位:千円)

事業名	H25 当初予算	H26 当初予算	財源内訳				
			特定財源		一般財源		
			国(県) 支出金	その他	引上げ分の地方 消費税(社会保 障財源化分の市 町村交付金)	その他	
社会福祉	福祉医療給付事業(小中学生通院医療費助成の拡充)	5,600	7,200			1,600	5,600
	在宅医療推進事業(H26新規事業・高齢者の24時間在宅医療の推進事業)	0	10,000		2,000	8,000	
	障害者交通費等支援事業(福祉車両利用回数の増)	4,914	8,400			3,400	5,000
	軽度・中度難聴児補聴器助成事業(H26新規事業)	0	400	200		200	
	生徒就学援助事業(要保護及び準要保護児童生徒数の増)	26,200	31,051	1,265		4,800	24,986
	小計	36,714	57,051	1,465	2,000	18,000	35,586
社会保険	国民健康保険事業(H26新規事業・特定健康診査推進事業、保険者への財政支援の拡充)	450,279	478,683	224,100		28,000	226,583
	後期高齢者医療事業(保険者への財政支援の拡充)	1,019,673	1,045,796	132,847	21,519	26,000	865,430
	介護保険事業(介護給付費の増)	771,020	848,350		50	38,200	810,100
	小計	2,240,972	2,372,829	356,947	21,569	92,200	1,902,113
保健衛生	健康増進事業(乳がん健診)	15,274	19,536	3,129	1,215	4,200	10,992
	感染症予防事業(結核健診)	12,000	16,085			4,000	12,085
	母子保健事業(H26新規事業・マタニティ歯科検診)	0	2,600			2,600	
	予防接種事業(麻疹・風疹、ヒブ、小児用肺炎球菌など各予防接種)	185,509	189,650			4,000	185,650
	病院運営事業(病院事業会計補助の拡充)	177,802	210,823			33,000	177,823
	小計	390,585	438,694	3,129	1,215	47,800	386,550
合計	2,668,271	2,868,574	361,541	24,784	158,000	2,324,249	





重点事業・平成26年度の主な事業

あいろんか

テーマ①

元気と安心、みんなで守る甲賀の暮らし



テーマ①

重点事業

あいらつか

元気と安心、みんなで守る甲賀の暮らし(1/10)

(1) 安全・安心を守る絆づくり

セーフコミュニティ推進事業

9,000千円(うち一般財源9,000千円)

より安心安全なまちづくりに向けて、生命や健康、地域の安全を脅かす外傷(事故やけが)を効果的に予防していくため、WHO(世界保健機関)が提唱する「事故やけがは予防できる」という考えに基づくセーフコミュニティの取り組みを平成24年度から開始しました。さらに、平成25年度からは、「自殺の予防」「交通安全」「高齢者の安全」「子どもの安全」「災害被害の防止」の5項目についてテーマ別対策委員会が発足し、これらを主軸として、市民・地域・関係機関の皆さんの連携・協働のもと、効果的・効率的な外傷予防のための取り組みの検討が進められています。

本年度は、本市の取り組み状況についてプレ審査(中間審査)を受け、是正・改善を加えながら取り組みを充実させ、セーフコミュニティの国際認証に向けた準備をしていきます。

担当:危機管理課 電話0748-65-0665

拡充 (地域防災力向上事業) 防災組織支援・体制整備事業

16,393千円(うち一般財源14,673千円)

ゲリラ豪雨や地震災害などに備え、地域での『自助』と『共助』の取り組みの推進を図るため、自主防災組織の組織化促進と地域防災リーダーの育成を行うとともに、組織機能の強化を図ります。また、『公助』の取り組みの推進を図るため、地域防災計画を見直し、地域防災力の向上を図ります。

担当:危機管理課 電話0748-65-0665



テーマ①

重点事業

元気と安心、みんなで守る甲賀の暮らし(2/10)

元気と安心、みんなで守る甲賀の暮らし

(2) 安全・安心を守るインフラ整備

拡充 (地域防災力向上事業) 災害対策事業

15,000千円(うち一般財源15,000千円)

防災アセスメント及びBCP(事業継続計画)に基づき、災害への備えとして災害用備蓄資機材を配備します。また、広域災害発生時に備え、統一した情報通信機器の整備を進め、災害時における情報伝達手段の確保を図ります。

担当:危機管理課 電話0748-65-0665

拡充 (地域防災力向上事業) 消防力による地域防災力向上事業

119,200千円(うち一般財源45,800千円)

消防団組織の消防力、水防力維持のため資機材や車両更新を行うとともに、消防団員の活動環境整備を行い団員活動の迅速性、安全性の確保を図ります。

担当:危機管理課 電話0748-65-0665

自動体外式除細動器(AED)設置事業

1,880千円(うち一般財源1,691千円)

公共施設利用時における心肺機能停止による突然死から尊い命を守るため、市の公共施設への自動体外式除細動器(AED)の設置を進め、一次救命に対応できる体制を整備します。

担当:危機管理課 電話0748-65-0665



テーマ①

重点事業

元気と安心、みんなで守る甲賀の暮らし(3/10)

コミュニティバス新規車両購入補助事業

42,082千円(うち一般財源42,082千円)

コミュニティバスを運行している事業者に対し、ノンステップバス等低床バス購入の新規車両購入費補助を実施します。
路線再編等も視野に入れ、路線バス機能を備えた低床バスを2台、小型バスを1台導入します。



担当: 公共交通推進室 電話0748-65-0672

地域情報化基盤整備事業

658,000千円(うち一般財源145,500千円)

市の地域情報基盤を活用し、市民の暮らしと安全・安心のための緊急情報をお知らせする音声放送端末機を全戸対象に設置していきます。また、ケーブルテレビ放送による身近な情報サービスの推進を図るため、多くの方にご利用いただけるよう市内のテレビ共同受信組合や区・自治会への一部助成を行います。

担当: 情報基盤整備推進室 電話0748-66-1193

元気と安心、みんなで守る甲賀の暮らし



テーマ①

重点事業

あいらつか

元気と安心、みんなで守る甲賀の暮らし(4/10)

市庁舎整備事業

130,000千円(うち一般財源8,900千円)

大規模な地震をはじめとする様々な災害に備え、市民の皆さんが利用しやすく親しんでいただき、また効率的な組織運営を図るため、本庁機能を水口庁舎に一元化し新庁舎を整備します。

本年度は、「甲賀市庁舎改修整備基本構想」を踏まえて平成25年度に作成した「基本設計」に基づき新庁舎建設工事を発注するための「実施設計」や「建築確認申請の手続き」を進めます。



イメージ配置図

担当:庁舎整備室 電話0748-65-0661

元気と安心、みんなで守る甲賀の暮らし

新規 貴生川西内貴土地地区画整理支援事業

48,305千円(うち一般財源48,305千円)

貴生川西内貴地区において、組合施行の土地地区画整理事業を支援することにより土地利用の効率化を促進するとともに、利便性・快適性・安全性等の住環境の向上を図ります。

担当:都市計画課 電話0748-65-0721



テーマ①

重点事業

あいらつか

元気と安心、みんなで守る甲賀の暮らし(5/10)

道路パトロール強化事業

47,500千円(うち一般財源47,500千円)

道路パトロール車に資機材を常備し、巡回・点検と安全装置、応急補修を一括対応することで、安全な道路管理を図ります。また、補修を繰り返す箇所は、道路改修を実施します。

担当:建設管理課 電話0748-65-0722 建設事業課 電話0748-65-0724

新規 小規模橋梁点検事業

27,000千円(うち一般財源27,000千円)

684橋梁のうち橋長15m未満の517橋の点検業務を実施し、橋梁の主要部材や損傷頻度、劣化が進行している箇所など、橋梁の健全度の概略を把握します。

担当:建設管理課 電話0748-65-0722

新規 橋梁長寿命化修繕推進事業

70,000千円(うち一般財源5,500千円)

684橋梁のうち橋長15m以上の167橋について、橋梁長寿命化計画に基づき橋梁の長寿命化修繕工事を実施し、市民の安全・安心・快適な住環境づくりを推進します。

担当:建設事業課 電話0748-65-0724



テーマ①

重点事業

あいらつか

元気と安心、みんなで守る甲賀の暮らし(6/10)

市営住宅寺庄団地建替事業

333,124千円(うち一般財源137,824千円)

公営住宅等長寿命化計画に基づき、老朽化した寺庄団地を建替え、住宅に困窮している市民に低廉な家賃の住宅を提供します。

担当:住宅建築課 電話0748-65-0609

保育園耐震化推進事業(保育園長寿命化)

73,710千円(うち一般財源3,710千円)

耐震診断調査により、耐震補強が必要と判定された保育園について、年次計画を立てて工事を実施し、安心安全な保育環境の確保及び老朽化した園の長寿命化を図ります。

担当:こども未来課 電話0748-86-8179

市内体育館耐震補強事業

54,700千円(うち一般財源2,800千円)

利用者が安全・安心に利用できるように、また、災害時の二次避難所としての役割も果たせるように、体育館の耐震補強を実施します。

担当:教育総務課 電話0748-86-8018
文化スポーツ振興課 電話0748-86-8023

元気と安心、みんなで守る甲賀の暮らし



テーマ①

重点事業

あいらつか

元気と安心、みんなで守る甲賀の暮らし(7/10)

元気と安心、みんなで守る甲賀の暮らし

(3) 高齢者・障がい者等の自立や介護への支援

新規

コミュニティバス無料乗車券交付事業

10,000千円(うち一般財源10,000千円)

市内に在住する80歳以上の高齢者の方及び障がい者の方で申請をされた方に対し、無料乗車券を交付します。

担当:公共交通推進室 電話0748-65-0672

新規

障がい者就労支援事業所の共同受注窓口等の整備

2,700千円(うち一般財源0千円)

障がい者施設や事業所と共に(仮称)障がい者就労支援部会を結成して、市や企業からの発注業務を円滑に受注できるよう拠点となる共同受注窓口を設置し、障がい者の就労や工賃アップを支援します。

担当:自立支援課 電話0748-65-0702



テーマ①

重点事業

あいらつか

元気と安心、みんなで守る甲賀の暮らし(8/10)

新規

高齢者の24時間在宅医療の推進(チーム医療で在宅看取りを支える)事業

10,000千円(うち一般財源8,000千円)

病気があっても住み慣れた地域で暮らしたいと希望される方に対して、在宅医療を受けやすくするために、在宅医療・介護の連携によるチーム医療を推進し、在宅医療を受けられる体制づくりを推進します。

担当:長寿福祉課 電話0748-65-0696

高齢者生活支援事業・家族介護支援事業・老人福祉事業

1,421千円(うち一般財源1,421千円)

高齢者が住みなれた地域で暮らし続けられるように、生活の利便性を図り、本人と介護者の負担を軽くするための支援を行います。

高齢者生活支援事業……高齢等のために独立して生活することに不安がある方に一定期間、低料金で居住の場を提供します。

家族介護支援事業……家事援助など日常生活で困難になったことを代行します。

老人福祉事業……日常生活用具を給付します。

担当:長寿福祉課 電話0748-65-0696



テーマ①

重点事業

あいらつか

元気と安心、みんなで守る甲賀の暮らし(9/10)

(4) 生涯を通じた健康づくりの充実

新規 公園パトロール強化事業

6,000千円(うち一般財源6,000千円)

公園パトロール車に資機材を常備し、巡回・点検と安全措置、応急補修を一括対応することで、利用者の安全・安心・快適な公園利用を図ります。

担当:建設管理課 電話0748-65-0720

新規 都市公園施設長寿命化事業

63,400千円(うち一般財源1,700千円)

都市公園の利用者の安全・安心を確保し、公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の計画的な修繕改築を実施します。

担当:建設管理課 電話0748-65-0720

元気と安心、みんなで守る甲賀の暮らし



テーマ①

重点事業

元気と安心、みんなで守る甲賀の暮らし(10/10)

「こうか盛人(せいじん)のつどい」事業

900千円(うち一般財源900千円)

おおむね70歳の皆さんが持つておられる豊富な知識・経験を生かし、地域のまちづくりや後輩の育成・指導に活躍いただくとともに、自らもさらに学習意欲を高め、より充実した豊かな人生を過ごしていただくためのきっかけづくりとして「つどい」を開催します。



担当: 社会教育課 電話0748-86-8021 長寿福祉課 電話0748-65-0696

元気と安心、みんなで守る甲賀の暮らし



重点事業・平成26年度の主な事業

あいか

テーマ②

学びと育ち、きずなが育む甲賀の未来



テーマ②

重点事業

あいらつか

学びと育ち、きずなが育む甲賀の未来(1/7)

(1) 子育ての支援や体制の整備と保育の充実

子育て応援小中学生通院医療費助成

7,200千円(うち一般財源7,200千円)

必要なときに必要な医療が受けられ、子どもが健やかに成長できるよう、市民税非課税世帯及び均等割のみが課税されている世帯に属する小中学生の通院医療費を助成します。

担当: 保険年金課 電話0748-65-0689

新規

甲賀市子ども・子育て応援団事業

4,700千円(うち一般財源4,700千円)

子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図り、教育や保育をはじめとする子育て環境を充実させ、子育て世代を支援します。

- ・甲賀市子ども・子育て応援団支援事業計画の策定
- ・甲賀市子ども・子育て応援団会議等の開催

担当: こども応援課 電話0748-65-0729



テーマ②

重点事業

あいらつか

学びと育ち、きずなが育む甲賀の未来(2/7)

学びと育ち、きずなが育む甲賀の未来

拡充

児童家庭相談援助事業

2,633千円(うち一般財源2,633千円)

妊産婦や18歳までの子ども及びその保護者に対して子育て支援を行い、保護者が安心して産み育てる環境をつくっていきます。また、DVの相談に迅速に対応します。職員の資質向上のため、定期的に有識者の助言・指導を仰ぎ、よりよい支援ができる体制づくりにも努めます。
担当:こども応援課 電話0748-65-0660

新規

障がい児相談支援事業・保育所等訪問支援事業

4,220千円(うち一般財源1,055千円)

こじか教室(児童発達支援事業)に通う子どもたちについて、子どもの発達課題や家族のニーズに沿った支援が受けられるよう、サービス利用計画を立てる「障がい児相談支援事業所」を設置します。また、これらの子どもたちが、地域の保育園・幼稚園にも適応し適切な支援を受けられるよう、こじか教室スタッフが園に出向いて助言をおこなう「保育所等訪問支援事業」を開始します。
担当:自立支援課 電話0748-65-0735

新規

安心して赤ちゃんを産むために「マタニティ歯科健診」事業

2,600千円(うち一般財源2,600千円)

市内の歯科医療機関に委託し、妊産婦を対象に歯周病を含めた歯科健診を実施します。受診券を発行して、妊娠中の歯科受診を勧め、健診の結果により受診指導や口腔衛生指導を行い、妊婦の口腔状態の向上に努めます。
担当:健康推進課 電話0748-65-0736



テーマ②

重点事業

あいらつか

学びと育ち、きずなが育む甲賀の未来 (3/7)

「子どもの読書活動推進事業」子どもの夢広がる読書活動推進事業

1,270千円(うち一般財源1,270千円)

保育園・幼稚園において図書等の充実を図ることにより、子どもたちの豊かな心を育むとともに、子どもたちの読書意識の向上につなげます。また、家庭教育支援事業での講座において、祖父母、親子で本にふれあう機会を提供します。

担当:こども未来課 電話 0748-86-8179

新規 「ことばの教室」支援事業

6,065千円(うち一般財源6,065千円)

「ことばの教室」が設置されていない市内の学校において、新たに指導員の巡回指導体制を創設し、教育的支援を必要とする待機児童の解消を図ります。

※巡回指導…指導員が学校を巡回し、個別指導、グループ指導や保護者の相談に対応します。

担当:学校教育課 電話0748-86-8317

学びと育ち、きずなが育む甲賀の未来



テーマ②

重点事業

学びと育ち、きずなが育む甲賀の未来(4/7)

あいらつか

(2) 経験や体験を通じた子どもの育成

広島平和記念事業

1,000千円(うち一般財源1,000千円)

市内小学6年生児童を対象とし、広島平和記念式典への参加をはじめとした平和学習を通じて、平和の尊さを学び「戦争や原爆の悲惨さを二度と繰り返してはならない」との認識を深めるとともに、千羽鶴の作製や参加児童による作文の発表等により、事業の趣旨を広く市民に伝えます。



担当:総務課 電話0748-65-0663

学びと育ち、きずなが育む甲賀の未来

拡充

(子どもの読書活動推進事業)心を耕す読書推進事業

3,588千円(うち一般財源3,588千円)

読書体験は、子どもたちの豊かな心を育み、思考力・判断力・表現力を豊かにします。また、人間関係を築いていく上で大切なコミュニケーション能力を高めるためにも、読書習慣の定着が必要です。

子どもたちが一冊でも多くの本と巡り合い、心に残る機会を創り出すため、市内小学校に巡回配置している学校司書の更なる充実を図ることで、より魅力のある学校図書室づくりを行います。

担当:学校教育課 電話0748-86-8020



テーマ②

重点事業

学びと育ち、きずなが育む甲賀の未来 (5/7)

新規

生きる力を育てる夢はぐくみ事業

18,880千円(うち一般財源18,880千円)

子どもたちの「生きる力」を育み、それぞれの「夢」を実現させるためには、確かな「学力」と学びへの「意欲」が必要です。「学力」の基本は「言語力」であり、一人ひとりが目標に向かって努力する学習環境を整えるため、小学4年生以上で「漢字検定」を、中学生全学年で「英語検定」の受験を支援し、児童生徒の基礎学力の定着と意欲の向上を図ります。

また、国際化が急速に進展する中、グローバル化に対応した教育環境づくりを進めるため、小学5・6年生外国語活動の全ての授業に外国語指導助手(ALT)を派遣し、外国語活動の拡充強化を図るとともに、児童のコミュニケーション能力の基礎を培うことを目指します。

担当: 学校教育課 電話0748-86-8020



テーマ②

重点事業

あいらつか

学びと育ち、きずなが育む甲賀の未来 (6/7)

(3) 教育環境の整備

拡充 (子どもの読書活動推進事業)「本を手に」読書活動推進事業

26,000千円(うち一般財源16,000千円)

児童書の蔵書をさらに充実させながら、子どもたちに読書の魅力を感じてもらえる環境を整えるとともに、図書館をあらゆる情報の窓口として位置づけ、図書館サービスの拡充を図ります。

担当: 社会教育課 電話0748-86-8021

拡充 学びの支援事業

31,553千円(うち一般財源31,553千円)

地域におられる優れた技術や知識を有する方の力を学校教育に活かすため、スクールサポーター制度を活用し、地域で子どもを育てる環境づくりを進めます。

- ・少人数学習指導・・・多人数の学級に支援員を配置し、複数できめ細かな指導を行います。
- ・夏休み教室・放課後教室・・・夏休みや放課後に、様々な学習教室を開催します。
- ・地域学推進のための学習対応・・・体験活動を通じた地域学の一層の充実を図ります。
- ・小1すこやか支援・・・小学1年生の多人数の学級に支援員を配置し、生活と学びを支えます。
- ・居心地のよい学習環境づくり・・・児童会や生徒会活動など、子どもたちの手による温かい集団づくりを支援します。

担当: 学校教育課 電話0748-86-8020

学びと育ち、きずなが育む甲賀の未来



テーマ②

重点事業

あいこうか

学びと育ち、きずなが育む甲賀の未来(7/7)

新規 水口適応指導教室移転事業

54,644千円(うち一般財源2,744千円)

老朽化の著しい水口適応指導教室を、びわ湖材利用促進事業を活用して新築移転し、不登校や学校不適應の課題を持つ児童生徒の学校復帰に向けた教育環境の一層の充実に努めます。

担当:学校教育課 電話0748-86-8317

新規 あいこうか市民ホール改修事業

103,000千円(うち一般財源0千円)

本市の文化・芸術・芸能の拠点施設として、安全・安心・快適に過ごせる劇場空間と舞台演出機能を維持するため、設備改修を行います。



担当:文化スポーツ振興課 電話0748-86-8023

学びと育ち、きずなが育む甲賀の未来



重点事業・平成26年度の主な事業

あいらつか

テーマ③

創造と交流、進化が生みだす甲賀の活力



テーマ③

重点事業

あいらつか

創造と交流、進化が生みだす甲賀の活力 (1/8)

(1) 雇用の維持と創出

拡充 甲賀JOBフェア(合同就職面接会)

2,500千円(うち一般財源0千円)

新規学卒者や若年求職者を対象に、市内での就労を目的に甲賀市内の企業・事業所との「合同就職面接会」を開催し、正規雇用につなげます。

また、障がいのある方の就労を支援するため、市内企業・事業所との面接の場を設け、障がい者の自立につなげます。



担当: 商工政策課 電話0748-65-0709

拡充 (仮称) 甲賀北地区事業化検討調査業務

18,000千円(うち一般財源18,000千円)

甲賀北地区において、段階的な市街化区域編入の見通し及び企業立地需要や関係権利者意向等を踏まえた事業手法、事業主体の検討を行います。

担当: 都市計画課 電話0748-65-0719

創造と交流、進化が生みだす甲賀の活力



テーマ③

重点事業

あいらつか

創造と交流、進化が生みだす甲賀の活力 (2/8)

(2) 地域産業の維持活性化

拡充

甲賀市緊急経済対策 住宅リフォーム促進事業補助(子育て・高齢者等支援)

53,800千円(うち一般財源53,800千円)

地域経済の活性化等のため、住宅リフォーム補助制度を見直し継続します。子育て世帯や高齢者世帯等の住環境改善及び滋賀県産木材の利用促進を重視したリフォームを応援します。

担当: 商工政策課 電話0748-65-0709

新規

地域産業活性化支援事業

3,600千円(うち一般財源3,600千円)

地域産業の活性化につながるよう、市内県立高等学校の全国募集枠入学生徒の良好な宿舎生活や学校外活動等を支援します。

担当: 商工政策課 電話0748-65-0709

甲賀ブランドの創設・発信事業

10,000千円(うち一般財源10,000千円)

市内の優れた観光資源に付加価値を付け、「甲賀ブランド」として認定し、国内外に発信すると共に、観光関連団体や地域で活動する市民団体等の皆さんと連携しながら、新たな誘客のための仕組みづくりに取り組み、観光資源全体の魅力を高めることで、観光からの地域の活性化を目指します。

担当: 観光推進室 電話0748-65-0708

創造と交流、進化が生みだす甲賀の活力



テーマ③

重点事業

あいらつか

創造と交流、進化が生みだす甲賀の活力 (3/8)

拡充 (甲賀のめぐみ推進事業) 野菜生産拡大大規模施設整備事業

9,500千円(うち一般財源6,500千円)

甲賀野菜の生産拡大を図るため、恒久的かつモデル的な大規模野菜ハウスの設置を支援するとともに、作付拡大や管理機等の導入を促進します。

担当: 農業振興課 電話0748-65-0711

拡充 (甲賀のめぐみ推進事業) 甲賀のめぐみ販路拡大事業

4,892千円(うち一般財源4,892千円)

甲賀のおいしさを伝えるため、市内小中学校で実施している甲賀市産コシヒカリの米飯給食を、本年度は幼稚園にも拡充します。

また、甲賀野菜をはじめ市内産農産品のすばらしさをアピールするため、本年秋に甲賀市で開催される関西茶業振興大会において、軽トラ市を開催します。

担当: 農業振興課 電話0748-65-0711

新規 農業後継者総合支援事業

13,050千円(うち一般財源13,050千円)

意欲ある農業後継者を確保し、新たな担い手を育成するため、新規就農者への支援を行うとともに、就農に関する情報提供を行います。また、中山間地域を中心とする耕作条件不利地域において、集落営農組織の設立を推進するとともに、機械設備の取得に対する支援を行います。

担当: 農業振興課 電話0748-65-0711

創造と交流、進化が生みだす甲賀の活力



テーマ③

重点事業

創造と交流、進化が生みだす甲賀の活力 (4/8)

あゝろか

(鳥獣対策事業) 鳥獣侵入防止柵設置事業

47,250千円(うち一般財源2,250千円)

ニホンジカ、イノシシなどの野生動物による農作物への被害を無くすため、集落が実施する恒久的な鳥獣侵入防止柵の設置に対して必要な資材を支給し、農業経営の安定に努めます。



担当: 獣害特別対策室 電話0748-65-0734

拡充 (鳥獣対策事業) 有害鳥獣捕獲事業

41,808千円(うち一般財源14,144千円)

増加を続けるニホンジカ・イノシシ・ニホンザルなどの野生獣の適正な個体数調整を促進するため、引き続き、有害鳥獣捕獲に対し、目標頭数を定め重点的に取り組みます。

(目標頭数 ニホンジカ 2,000頭 ・ イノシシ 500頭以上)

また、生息が拡大しているアライグマなどの外来獣の撲滅に向け、取り組みを拡大します。

担当: 獣害特別対策室 電話0748-65-0734

アライグマの特徴
尾に縞模様、目の周りに黒い
マスク模様がある



創造と交流、進化が生みだす甲賀の活力



テーマ③

重点事業

あいらつか

創造と交流、進化が生みだす甲賀の活力 (5/8)

(鳥獣対策事業) 有害鳥獣捕獲推進事業

9,674千円(うち一般財源9,674千円)

新たな狩猟免許取得に必要な経費や、免許取得者に対する法定猟具の購入経費を補助するとともに、猟友会に対するハンター保険助成などの活動支援を継続し、有害鳥獣捕獲の一層の充実に努めます。

担当: 獣害特別対策室 電話0748-65-0734

拡充 (鳥獣対策事業) 獣害に強い里づくり事業

5,600千円(うち一般財源5,600千円)

集落環境点検を実施した集落が行う鳥獣害対策の活動に必要な経費を助成します。また、本年度から新たに合わせて0.3ha以上1.0ha未満の小規模な緩衝帯整備について補助制度を創設し、獣害に強い里づくりを促進します。



伐採前(5月)



伐採後(6月~7月)

担当: 獣害特別対策室 電話0748-65-0734

創造と交流、進化が生みだす甲賀の活力



テーマ③

重点事業

あいらつか

創造と交流、進化が生みだす甲賀の活力 (6/8)

(3) 人やモノの交流促進

新規 甲賀市観光のまちづくり施設整備事業

1,000千円(うち一般財源1,000千円)

観光客誘客に不可欠とされる観光用トイレの整備状況の現況を調査分析し、長期的整備計画のもと、必要とされる観光用トイレの設置を検討し、観光客の誘客を図ります。

担当: 観光推進室 電話0748-65-0708

拡充 (甲賀のめぐみ推進事業) 茶の生産振興と販路の拡大事業

17,900千円(うち一般財源17,900千円)

朝宮、土山のお茶の生産振興のため、老園化する茶樹の改植や防霜ファンの整備を支援します。また、甲賀の良質なお茶をアピールするため、本年秋に甲賀市で開催される関西茶業振興大会の品評会対策として経費助成を拡充します。

緑茶の伝承、食育を通じた消費・販路拡大のため、小学校へのリーフ茶提供をさらに継続するとともに、幼保育園にも拡充します。

担当: 農業振興課 電話0748-65-0711

創造と交流、進化が生みだす甲賀の活力



テーマ③

重点事業

あいらつか

創造と交流、進化が生みだす甲賀の活力 (7/8)

都市農村交流事業

8,000千円(うち一般財源4,036千円)

中山間地域を中心とする農村集落において、地域の活性化を図るため、新名神等による都市部からの交通アクセスの良さを生かし、都市住民との交流事業として宿泊を伴う地域資源を活用した教育旅行(主として中学生)の受入を推進します。また、受入家庭の質的向上を図るため、農家民宿営業許可の取得を支援します。



担当: 農業振興課 電話0748-65-0711

甲南駅周辺整備事業

265,751千円(うち一般財源115,964千円)

JR甲南駅周辺において、甲南駅を交通拠点とした「まちの活性化」と「まちづくり」を推進するため、都市施設の総合的な整備を行い、利用者の安全性と利便性の向上を図ります。

担当: 都市計画課 電話0748-65-0721

創造と交流、進化が生みだす甲賀の活力



テーマ③

重点事業

あいらつか

創造と交流、進化が生みだす甲賀の活力 (8/8)

創造と交流、進化が生みだす甲賀の活力

名神名阪連絡道路整備促進事業

2,500千円(うち一般財源2,500千円)

名神名阪連絡道路の早期整備をめざし、関係機関(国土交通省等)への要望活動を行います。(仮称)甲賀北工業団地の整備と併せて、周辺地域との連携を図るため名神名阪連絡道路の事業効果を検証します。

担当:建設事業課 電話0748-65-0724

土山SA周辺地域利活用・甲南IC・PA流出経路検討事業

1,000千円(うち一般財源1,000千円)

土山SA周辺の遊休地の利活用と、それに併せたスマートIC設置に向け、関係機関(NEXCO中日本等)と協議を進めます。また、甲南ICと甲南PAの相互利用ができる流出経路の検討及び事業費用対効果を関係機関(NEXCO西日本等)と検証します。

担当:建設事業課 電話0748-65-0724



重点事業・平成26年度の主な事業

あいこうか

テーマ④

魅力の伝承、誇りを伝える甲賀の宝



テーマ④

重点事業

あいらつか

魅力の伝承、誇りを伝える甲賀の宝 (1/7)

魅力の伝承、誇りを伝える甲賀の宝

(1) 地域コミュニティの育成支援

新規

地域おこし協力隊事業

1,500千円(うち一般財源1,500千円)

都市住民など市外から地域社会の新たな担い手となる人材を受け入れ、地域おこし活動の支援や農林業の応援、住民の生活支援などの地域協力活動に従事していただく「地域おこし協力隊」の募集に向けて、導入・活動の仕組みをつくります。

担当:政策推進課 電話0748-65-0670

甲賀市自治基本条例策定事業

1,600千円(うち一般財源1,600千円)

市民一人ひとりが自治の主体としてまちづくりに取り組むための理念やルールを定める甲賀市自治基本条例の制定に向け、条例策定委員会の骨子案をもとにした条例素案を広く市民の皆さんに説明し、意見を反映させた条例案を策定します。

担当:地域コミュニティ推進室 電話0748-65-0687

地域人材活性化事業

1,600千円(うち一般財源1,470千円)

市内では区や自治振興会、NPOなど様々な市民活動が行われています。その活動が、さらに発展していくためには活動を支える人材を育てることが大切です。本事業では、市内で行われている様々な活動について学ぶ機会を設け、まちづくりの入門・実践講座を開催するとともに、区や自治振興会の役員、市職員など地域コミュニティ活動に関わる人を対象にワークショップを開催し、情報交換する場を提供します。

担当:地域コミュニティ推進室 電話0748-65-0687



テーマ④

重点事業

あいこうか

魅力の伝承、誇りを伝える甲賀の宝 (2/7)

(2) 地域資源の創造と維持活用

新規 甲賀市市制施行10周年記念事業

10,760千円(うち一般財源10,000千円)

甲賀市は、平成26年10月1日に市制施行から10周年を迎えます。
この機会をとらえ、旧5町による合併から今日までの一体感の醸成に向けたまちづくりを振り返るとともに、未来に向かって輝きつつけるまちの姿を市内外に強くアピールするための市制施行10周年記念事業を実施します。

担当:政策推進課 電話0748-65-0670

ふるさとに夢を育む、次世代教育支援事業

1,000千円(うち一般財源1,000千円)

地場産業の継承と振興発展を担う人材育成のため、地域に根ざす「ものづくり」「デザイン」等を特色とした信楽高校づくりの取り組みに対する支援を行います。

担当:教育総務課 電話0748-86-8018

あいこうか うたプロジェクト2014

1,000千円(うち一般財源997千円)

であいこうか八景、大切な人への思いなどを詠んだ短歌を広く募集します。
入選作品は表彰を行い、広報誌やホームページなどで市内外に公表・発信し、観光やPRに活用します。

担当:文化スポーツ振興課 電話0748-86-8023



テーマ④

重点事業

あいこうか

魅力の伝承、誇りを伝える甲賀の宝 (3/7)

史跡紫香楽宮跡整備活用事業

1,218千円(うち一般財源1,158千円)

奈良時代、聖武天皇が造営した都として名高い国指定史跡紫香楽宮跡の積極的な活用を図るため、「整備活用実施計画」に基づき、史跡の案内板を設置します。



担当: 歴史文化財課 電話0748-86-8026

拡充 あいこうか岡山城プロジェクト

27,000千円(うち一般財源17,000千円)

地域の重要な歴史遺産「水口岡山城跡」のある古城山を市のランドマークとして市民に広く認識してもらうために、城跡の発掘調査を行い、その構造を解明するとともに、城跡を体感できる施設や散策道、森林の整備を実施します。



担当: 歴史文化財課 電話0748-86-8026

魅力の伝承、誇りを伝える甲賀の宝



テーマ④

重点事業

あいらつか

魅力の伝承、誇りを伝える甲賀の宝 (4/7)

魅力の伝承、誇りを伝える甲賀の宝

(3) 自然環境の保全と共生

身近な森づくり事業

4,820千円(うち一般財源3,188千円)

「地域の森づくり」では、森林公園等、身近な里山を適正に保全管理することで、利用者に憩いの場を提供するとともに、観光資源としてその活用を図ります。

「学校の森づくり」では、未手入れの学習林等を対象に森林整備を実施することでその再生を図り、安全な森林環境学習の場を提供します。

「企業の森づくり」では、環境貢献活動の一環として企業が実施する森林保全活動に対し、活動フィールドの提供や関係者との調整等積極的な支援を行い、環境意識の向上や地域との協働による森づくりを推進します。

担当: 林業振興課 電話0748-65-0715

新規

緊急間伐促進事業

2,500千円(うち一般財源2,500千円)

立地条件や小規模な区域である等の理由から国・県の補助事業対象とならない森林において、森林組合等が実施する間伐作業に対し、補助金を交付します。

担当: 林業振興課 電話0748-65-0715



テーマ④

重点事業

あいらつか

魅力の伝承、誇りを伝える甲賀の宝 (5/7)

新規

甲賀の森林づくり推進事業

300千円(うち一般財源300千円)

市内の森林に関わる全ての人々が一体となって、環境、資源、文化とともに豊かな森林を育て、次世代に引き継いでいくため、将来を見越した「甲賀の森林づくり」を検討するための委員会組織を立ち上げ、災害に強い森づくりや森林資源の利活用の促進につながる施策の検討や市民への普及啓発を行うことで地域林業の再生を図ります。

担当: 林業振興課 電話0748-65-0715

新規

地域で育む美しい里づくり事業

6,700千円(うち一般財源3,554千円)

公共下水道等の未整備区域において、合併浄化槽を面的に整備しかつ適正な維持管理を行う地域に対して、当該経費を従来の個人への浄化槽設置補助金に上乗せして交付し、短期間で水洗化の向上と生活環境の改善及び公共水域の水質保全を図ります。

担当: 下水道課 電話0748-86-8012

魅力の伝承、誇りを伝える甲賀の宝



テーマ④

重点事業

あいらつか

魅力の伝承、誇りを伝える甲賀の宝 (6/7)

(4) 省エネルギーの推進と新エネルギーの普及支援

防犯灯省電力化事業

5,000千円(うち一般財源5,000千円)

市管理の既存防犯灯を、老朽化したものから計画的にLED防犯灯器具に更新します。

担当:生活環境課 電話0748-65-0690

拡充 再生可能エネルギーの地域導入事業

1,450千円(うち一般財源1,450千円)

再生可能エネルギーの地域導入促進のための技術の実証や活用の検証を進めるため、企業・団体、地域等が行う具体的な取り組みや、区や自治振興会等が行う研修会等の開催に必要な費用に対し補助等を行います。

担当:生活環境課 電話0748-65-0690

魅力の伝承、誇りを伝える甲賀の宝



テーマ④

重点事業

あいらつか

魅力の伝承、誇りを伝える甲賀の宝 (7/7)

公共的施設の再生可能エネルギー導入補助

5,000千円(うち一般財源5,000千円)

再生可能エネルギーの地域導入を進めるため、地域の集会所等への太陽光発電等の再生可能エネルギー設備の導入に対し、その費用の一部を補助します。

- ・太陽光発電等の整備
1kwあたり200千円 又は 補助率1/2のどちらか低い額、2,000千円以内
- ・省エネ器具等の整備
補助率1/2、250千円以内
- ・省エネ器具等の整備(県補助金対象施設)
補助率2/3、500千円以内



担当:生活環境課 電話0748-65-0690

公共施設における省電力照明への更新事業

5,500千円(うち一般財源5,500千円)

公共施設の照明を省電力照明に更新します。
勤労福祉施設 5,000千円 保育園 500千円

担当:生活環境課 電話0748-65-0690 商工政策課 電話0748-65-0709 こども未来課 電話0748-86-8179

魅力の伝承、誇りを伝える甲賀の宝



財政健全化への取組事業

あいらつか

新規 甲賀市基幹系システム及びネットワーク再構築事業

2,160千円(うち一般財源2,160千円)

税や住民記録、福祉などの電算システムについて、平成27年度に更新時期を迎えるにあたり、行政事務の効率化及び維持管理経費を削減するため、総合基本ソフトを可能な限り改修を加えずに導入するとともに、ネットワーク機器の最適化を図り、番号法への対応や庁舎整備を見据えつつ業務を見直し、市民サービスの質の向上を目指します。

担当: 情報政策課 電話0748-86-8177

新規 電子入札システムの導入

2,346千円(うち一般財源2,346千円)

建設工事及び測量、調査、設計、監理業務について、入札参加者の利便性の向上と透明性・公平性、競争性ならびに入札契約事務の効率化を図るため、電子入札を導入します。

担当: 契約検査課 電話0748-65-0678



平成26年度の主な事業

特別会計・企業会計で実施する事業

拡充 特定健康診査推進事業

予算額 2,400千円

40歳～74歳までの国民健康保険被保険者を対象とした特定健康診査の受診率を向上させることで、生活習慣病の早期発見や予防を行い、被保険者の健康を維持し、同時に医療費の増加を抑制し、国民健康保険の健全な運営を図ります。



滋賀県健康づくりキャラクター
「しがのハグ&クミ」

担当: 保険年金課 電話0748-65-0688

拡充 地域間配水系統連絡整備事業

予算額 47,000千円

岩室浄水場の完成により、新たに県用水の受水を行い配水量が確保できる体制となったことから、旧町間を結ぶ隠岐・寺庄間の配水連絡管整備を行い、安心して安定した水道水の供給を実施します。

担当: 上水道課 電話0748-86-8015

拡充 公共下水道整備事業

予算額 767,778千円

水口町山地区、甲南町池田地区等の公共下水道整備工事を推進し、市民の生活環境の向上と公共水域の水質保全に努めます。

担当: 下水道課 電話0748-86-8347

新規 給水車購入事業

予算額 17,100千円

台風や地震災害による広範囲の断水に対応するため、避難所及び医療機関への迅速な給水活動ができる動力ポンプ設備付きの給水車両を購入します。

担当: 上水道課 電話0748-86-8015



平成26年度の主な事業

一部事務組合で実施する事業

あいらつか

衛生センター設備の補修

302,640千円(うち当年度甲賀市負担額176,615千円)

ごみ処理施設の安定稼働のため、経年劣化部分の補修工事を行います。



甲賀広域行政組合 電話0748-62-0056

消防車両の更新

26,700千円(うち当年度甲賀市負担額1,834千円)

高規格救急自動車を更新し、甲賀分署に配備します。



甲賀広域行政組合 電話0748-62-0056



協働事業

市民協働事業提案制度によって採択された事業を優先的に予算化します。

あいらつか

新規

ホタルの飛びかう水辺づくり、竹炭を使った河川水質改善事業

河川改修した後、河川に自家製の竹炭を設置し、水質および環境の改善を行います。

新規

民官産学による「いきものみっけファーム」元気プロジェクト

地域資源を活かした「いきものみっけファーム滋賀」元気プロジェクトに取り組み、環境保全型農業による生物の多様性の保全と6次産業化による地域活性化を進めます。

新規

異文化が溶け合うサロン事業

日本人も外国人も共に集い交流するきっかけづくりとして、ワークショップやイベントなどを開催します。

新規

発達障がいへの理解対応を学ぶ勉強会および啓発活動事業

勉強会、関係団体との効果的な事業を開催し、発達障がいへの理解と支援の手立てを学び、発達障がいに対する認識を高めます。

新規

学齢期の母親サポート事業

就学時の母親支援、孤立化する母親サポート、父親の子育てで参画を目的とした事業を展開し、つながりを深めるための機会と場所を提供します。

ここあったかハウスふれあい農園事業

年間の農作業を通じて、障がい者や高齢者などの日中活動の場を提供するとともに、収穫した野菜を商品化・販売し、一定の収入が確保できる仕組みを構築します。

旧東海道新城および岩神(いわがみ)周辺地域の歴史の調査研究

文献による調査研究や現地踏査、岩上公園周辺の景観整備、ふるさと絵図の作成、土山宿と連携した街道まつりの企画を行い、地域活性化を目指します。

※事業名の「岩神」は、団体からの提案名をそのまま記載しています。

自然豊かな里山で大人と小学生が
いっしょに体験する楽しい里山活動

市の花「ササユリ」の咲きほこるまちづくり

市内各公共施設にササユリを展示するため、配布用球根増殖圃を設置するとともに、市内各地域への普及をめざし、新たな繁殖法として種子繁殖法の取り組みをはじめます。

里山を活用した小学生の自然体験活動を
提供する中で、青年リーダーの育成を
図ります。

明日も笑顔で
安心安全な理想郷へ
甲賀市

私たちはセーフコミュニティをめざします

甲賀市は、平成26年10月1日に市制施行10周年を迎えます

60



ゼロ予算事業

あいこうか

特別な予算措置をすることなく、職員一人ひとりの積極的な創意工夫のもとで、技術・知識、資産、情報の最大限の活用や市民との協働・連携により、行政サービスの向上につながる取り組みを一層推進します。

①甲賀の魅力を発信する

新 甲賀市の自然インターネット資料室

・知っとうか、甲賀の歴史あれこれ

③市役所の技術・情報を届ける

・いきいき100歳体操啓発普及事業

・まちづくり出前講座

②安全・安心なまちづくり

・障がい児とのふれ愛 見守り隊

・みんなでパトロール(みなパト)

・まちと水を見守る あんしんけんしん

その他にも・・・

・緑のカーテン事業

・甲賀を再発見『であい・こうか八景』フォトコンテスト



お知らせ

あいらつか

「ふるさと納税」にご協力ください！

この制度は、『ふるさとのために何かしたい』『ふるさとを応援したい』『ふるさとを大事にしたい』という、全国の皆さんからの善意・厚意を、寄附という形にして『ふるさと』に伝えていこうとするものです。

また、「ふるさと」は「以前に住んでいた自治体」に限定されませんので、甲賀市出身の方はもちろんのこと、当市に関心や興味をお持ちで応援していただける方ならどなたでもこの制度を利用していただくことができます。

「ふるさと納税」制度を利用いただくと、**所得税と個人住民税の寄附金控除**が受けられます。

ご寄附を頂く際には“使い道”をご指定いただけます。

皆様からの寄附金は、甲賀市の総合計画に基づく将来像の実現に向けた重点的な取り組みに活用させていただきます。

担当：政策推進課 電話0748-65-0670

受入家庭大募集

甲賀市では、都市農村交流事業を推進しています。

農山村での生活体験・農林業体験・郷土料理づくりなどを通して、子どもたちは、生命の尊さや食の大切さを知り、思いやりの心や豊かな人間性を育みます。

受入側も、そんな子どもたちの成長を目の当たりにして感動を味わったり、自分たちの地域のよさを再発見したり...

そんな感動体験のお手伝いをしていただける受入家庭を募集しています。

担当：農業振興課 電話0748-65-0711

あいらつか



甲賀野菜
四半
まんてん



明日も笑顔で
安心安全な理想郷へ
甲賀市
私たちはセーフコミュニティをめざします

甲賀市は、平成26年10月1日に市制施行10周年を迎えます